

SIX SIGMA

統計的アプローチによるプロセスの変革と品質の極
致

シックスシグマの核心的な4原則



顧客第一 (CTQ)

顧客にとって最も重要な品質特性 (Critical to Quality) を特定し、価値提供を最大化します。



事実に基づく管理

直感や経験に頼らず、収集された客観的なデータに基づいて意思決定を行います。



バラツキの抑制

平均値の向上だけでなく、プロセスの「変動 (バラツキ)」を抑えることで安定した品質を保証します。



プロセスの最適化

個人の能力ではなく「仕組み」に焦点を当て、エラーが発生しない強固なプロセスを構築します。

3.4 DPMO: 統計的な完璧

3.4

DPMO (100万回あたりの欠陥数)

シックスシグマの目標は、プロセスのエラー率を極限まで低減させることです。これは統計的に以下の精度を意味します。

99.99966 %

プロセスの標準偏差 (σ) の6倍が規格内に収まることで、限りなくゼロに近い欠陥率を実現し、圧倒的な競争力を生み出します。

